

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)

発行日：2024年6月8日



株式会社 都市ビルサービス
株式会社 大竹環境保全


登録番号
エコアクション21
認証番号 0011282

目次

1. 『SDG s』の取り組み	P. 2～3
2. 組織の概要・対象範囲	P. 4
3. 組織図・実施体制	P. 5
4. 環境経営方針	P. 6
5. 事業登録の内容等	P. 7～12
6. 広島蛍光灯リサイクルセンターについて	P. 13
7. 広島蛍光灯リサイクルセンターの処理フロー図	P. 14
8. 施設の状況	P. 15
9. 受託した廃棄物の処理実績	P. 16
10. 環境への負荷の実績	P. 16
11. 環境経営目標の取り組み結果	P. 17
12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて	P. 18～23
13. 環境経営目標及び環境経営活動計画	P. 24～27
14. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 28
15. 代表者による全体評価と見直し・指示	P. 29

1. 『SDGs』の取り組み

私たちは、事業活動を通して、次世代に住みよい地球を引き継ぐため、又よりよい地域の生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に貢献するために、以下の課題に取り組むこととします。

1. 性別や国籍を問わず、多種多様な人たちが共に活躍できる社会を形成します。
2. 事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます。
3. エコアクション21等の環境への取組を通して環境負荷の低減を行います。
4. BCP（事業継続計画）を策定し、大規模災害時に地域社会への影響を最小限に抑えます。
5. ボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1. 『SDGs』の取り組み

課 題	取り組み内容	関連するSDGs
男女や国籍を問わず、多種多様な人たちが共に活躍できる社会を形成する	働き方改革（長時間労働の防止等） ダイバーシティ経営 女性の活躍 ワークライフバランスの推進 ハラスメント根絶 メンタルヘルス導入 定期健康診断 資格取得支援制度 DX積極的導入	     
事業活動を通して、持続可能な社会を実現する	廃棄物適正処理 有害物質除去（蛍光灯リサイクル） 住宅メンテナンスサービス提供 3Rの推進 消火器リサイクル特定窓口登録	   
エコアクション21等の環境への取組を通して環境負荷の低減を行う	エコアクション21認定取得 資源循環型社会の構築	    
BCP（事業継続計画）を策定し、大規模災害時に地域社会への影響を最小限に抑える	事業継続計画書策定 教育訓練実施 安否確認システム導入 災害救援協定書締結 災害時支援要請への協力	   
ボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組む	きれいなまちづくりキャンペーン参加 廃棄物適正処理出張講義	   

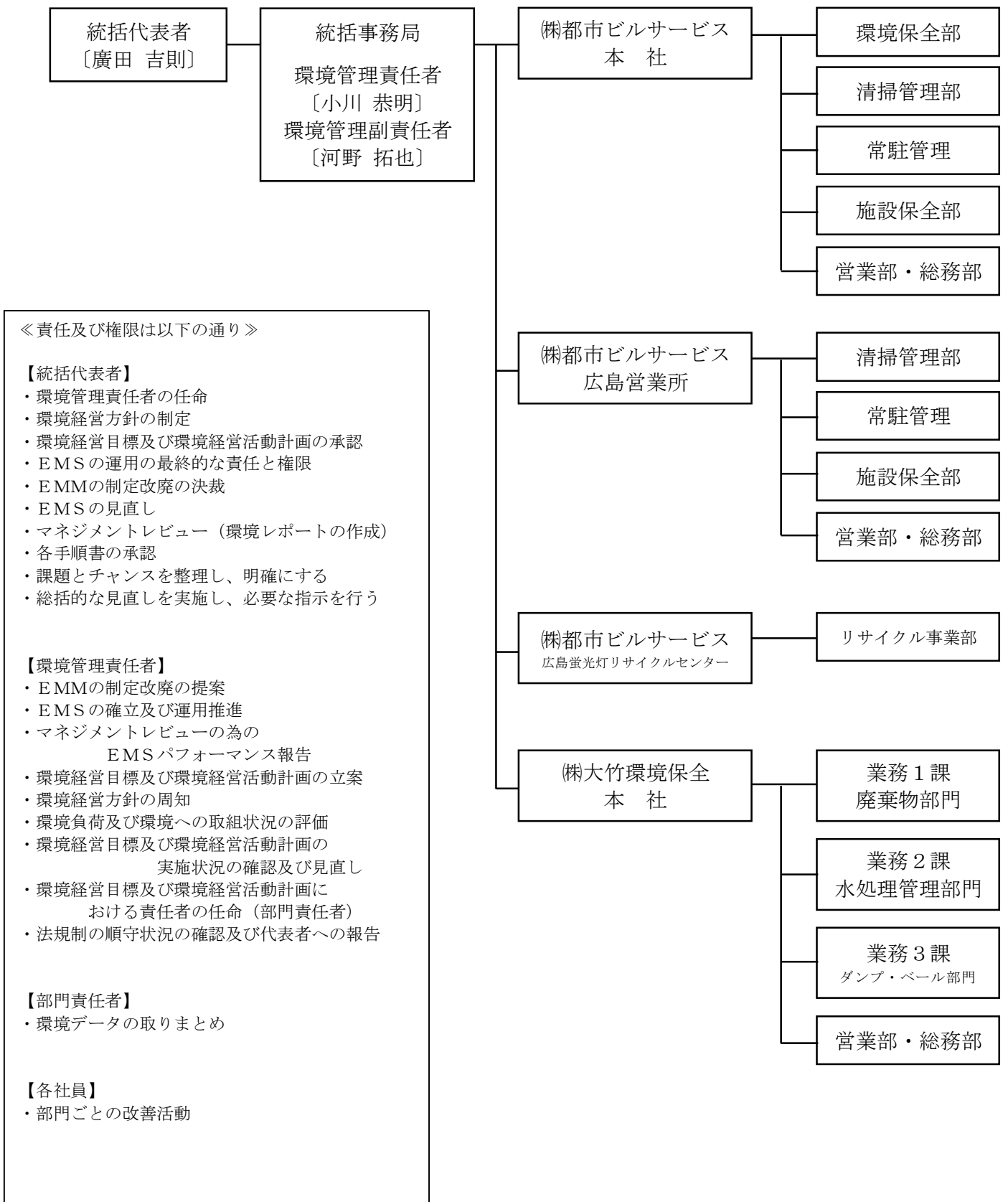
2. 組織の概要・対象範囲

統括代表者	(株)都市ビルサービス 代表取締役 廣田 吉則	
統括環境管理責任者	環境管理責任者	小川 恭明
	環境管理副責任者	河野 拓也
対象事業所及び所在地	(株)都市ビルサービス	
	本社	広島県東広島市八本松町原4792番地
	広島営業所	広島県広島市安佐南区大町西1-21-9
	広島蛍光灯リサイクルセンター	広島県大竹市東栄1-5-8
	(株)大竹環境保全	
	本社	広島県大竹市東栄1-2-8
法人設立年月日	(株)都市ビルサービス	創立：1977年2月22日
	(株)大竹環境保全	創立：1970年4月1日
資本金	(株)都市ビルサービス	2,000万円
	(株)大竹環境保全	1,000万円
事業の規模（2022年度）	(株)都市ビルサービス	総売上高：820百万
	(株)大竹環境保全	総売上高：394百万
担当者連絡先	統括事務局	TEL：082-429-3737

認証・登録事業者	株式会社都市ビルサービス
事業活動	一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、総合ビルメンテナンス、産業廃棄物中間処理、浄化槽管理、一般貨物輸送
対象事業所	本社、広島営業所、広島蛍光灯リサイクルセンター、株式会社大竹環境保全
認証・登録日	2016年4月3日

(複数法人による一括承認)

3. 組織図・実施体制



4. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

株式会社 都市ビルサービス及び株式会社 大竹環境保全是「次世代に住みよい地球を引き継ぐために、よりよい地域の生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に貢献する。」ことを基本理念とし以下の方針を定めて環境に調和した事業活動を行います。

1. エコアクション21ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善することにより環境経営を推進します。
2. 環境法規制及び地域と取り交わした協定を遵守いたします。
3. 株式会社 都市ビルサービス及び株式会社大竹環境保全是廃棄物の収集運搬、水処理、ビル管理、蛍光灯リサイクル業務を行っていることを踏まえ、下記の項目を重点活動項目と定め、事業活動の環境負荷を低減します。
 - ① 節電、省エネルギーにより、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 水使用量の削減に努めます。
 - ③ 循環型社会の構築の為、3Rの推進（削減、再利用、再資源化）に努めます。
 - ④ 受託した廃棄物の再資源化に取り組みます。
 - ⑤ 化学物質の適正処理
 - ⑥ 課題とチャンスを踏まえて、業務改善に取り組みます。
4. 環境への取組を環境活動レポートに取りまとめ公表します。

2015年 9月 1日 制定
2021年 4月 1日 改定

株式会社 都市ビルサービス
株式会社 大竹環境保全

統括代表者
株式会社 都市ビルサービス
代表取締役 廣田 吉則

5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

一般廃棄物収集運搬業許可一覧		
許可範囲	許可番号	許可期間
東広島市 (西条・八本松・志和・高屋)	101	自：2024年（令和6年）4月1日 至：2026年（令和8年）3月31日
東広島市 (黒瀬)	102	自：2023年（令和5年）4月1日 至：2025年（令和7年）3月31日
東広島市 (福富)	103	自：2023年（令和5年）4月1日 至：2025年（令和7年）3月31日
東広島市 (河内)	104	自：2023年（令和5年）4月1日 至：2025年（令和7年）3月31日

産業廃棄物処分業（中間処理）			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2020年（令和2年）1月20日 至：2025年（令和7年）1月19日
許可番号	第03421035777号		
所在地	広島県大竹市東栄一丁目5-8		
処理能力	2.16 t / 日 ※詳細は設備詳細参照		
処理工程	蛍光灯リサイクルフロー参照		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【破碎・加熱分離・選別】廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（これらのうち廃蛍光管、廃水銀灯及び廃ランプ類に限り、水銀使用製品産業廃棄物（水銀回収義務のあるものを除く）を含み、廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、自動車等破碎物、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）		

5. 事業登録の内容等 【株式会社ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2021年（令和3年）1月14日 至：2026年（令和8年）1月13日
許可番号	第03411035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	<p>【積替え保管含む】 汚泥（廃電池に限る）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、廃容器包装及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p> <p>【積替え保管は含まない】 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p>		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島市	許可期間	自：2019年（令和元年）11月13日 至：2024年（令和6年）11月12日
許可番号	第03411035777号		
所在地	広島県広島市安佐南区大町西一丁目21-9		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	<p>【積替え保管含む】 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、廃プリント配線板、廃容器包装、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p> <p>【積替え保管は含まない】 燃え殻（判定基準に適合しないものを含まない）、汚泥（判定基準に適合しないものを含まない）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃容器包装、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p>		

5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	山口県	許可期間	自：2020年（令和2年）7月28日 至：2025年（令和7年）7月27日
許可番号	第03500035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く） （これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	岡山県	許可期間	自：2021年（令和3年）7月29日 至：2026年（令和8年）7月10日
許可番号	第03300035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、金属くず（自動車等破砕物を除く）ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く） （これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く）		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	島根県	許可期間	自：2021年（令和3年）8月3日 至：2026年（令和8年）7月26日
許可番号	第3200035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等		

5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	鳥取県	許可期間	自：2022年（令和4年）3月28日 至：2027年（令和9年）3月27日
許可番号	第03104035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	香川県	許可期間	自：2022年（令和4年）5月10日 至：2027年（令和9年）5月9日
許可番号	第03709035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	愛媛県	許可期間	自：2022年（令和4年）4月15日 至：2027年（令和9年）3月20日
許可番号	第3806035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず		

5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

特別管理産業廃棄物収集運搬業			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2021年（令和3年）6月6日 至：2026年（令和8年）6月5日
許可番号	第03451035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃酸（水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り特定有害産業廃棄物であるものを除く） ・ 廃アルカリ（水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く） ・ 感染性産業廃棄物 		

ビルメンテナンス		
許可名	許可番号	許可期間
建築物環境衛生総合管理業	広島県17総第80008号	自：2023年（令和5年）10月19日 至：2028年（令和11年）10月18日
建築物貯水槽清掃業	広島県61貯第4124号	自：2023年（令和5年）3月10日 至：2029年（令和11年）3月9日
建築物ねずみ昆虫等防除業	広島県60ね第5058号	自：2022年（令和4年）3月18日 至：2028年（令和10年）3月17日
建築物排水管清掃業	広島市27排第61017号	自：2021年（令和3年）8月11日 至：2027年（令和9年）8月10日
警備業	第73000395号	自：2022年（令和4年）8月23日 至：2027年（令和9年）8月22日

5. 事業登録の内容等 【(株)大竹環境保全】

一般廃棄物収集運搬業許可一覧		
許可範囲	許可番号	許可期間
大竹市 (事業系一般廃棄物)	233	自：2022年(令和4年)4月1日 至：2024年(令和6年)3月31日
大竹市 (浄化槽汚泥収運及び浄化槽清掃)	234	自：2022年(令和4年)4月1日 至：2024年(令和6年)3月31日
山口県玖珂郡和木町	20	自：2023年(令和5年)4月1日 至：2025年(令和7年)3月31日

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2023年(令和5年)8月28日 至：2028年(令和10年)8月27日
許可番号	第03411136822号		
所在地	広島県大竹市東栄1丁目2-8		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【積替え保管含む】 廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・非飛散性石綿含有産業廃棄物 (積替え・保管を含まない)燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・動植物性残さ・鉱さい・動物のふん尿・ばいじん		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	山口県	許可期間	自：2022年(令和4年)8月2日 至：2027年(令和9年)8月1日
許可番号	第03501136822号		
所在地	広島県大竹市東栄1丁目2-8		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【積替え保管は含まない】 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・動物のふん尿・非飛散性石綿含有産業廃棄物		

浄化槽管理	
許可範囲	許可期限
広島県大竹市・廿日市市	2024年(令和6年)12月31日
山口県玖珂郡和木町	2026年(令和8年)3月8日

一般貨物運送	
許可発出日	
	2011年(平成23年)3月30日

6. 広島蛍光灯リサイクルセンターについて



水銀回収装置「マーチ 2 1」

蛍光灯の水銀を低温で蒸発させ回収することの出来る専用リサイクル装置です。

蛍光灯の中には「水銀」が含まれています。

水銀を除去せず埋め立て処理を行うと、水銀が土壌を汚染し、地下水や河川に流れ出て水質汚染を引き起こす可能性があります。

都市ビルサービスでは、使用済み蛍光灯から有害な水銀を除去し、蛍光灯を構成するガラスや金属部品までも適正にリサイクルする、中四国地方で初の蛍光灯リサイクル施設「広島蛍光灯リサイクルセンター」を運営しています。

直管形・環状管形・コンパクト形などすべてに対応し、環境に配慮したリサイクルシステムでリサイクル率95%という徹底した資源の再利用化を実現しています。

蛍光灯RC処理設備

種類・名称	能力	所有台数
水銀除去装置：マーチ 2 1	2.16t/日	1
環境集塵機	30m ³ /分	2
破碎機：両端カット破碎機	1,000本/h	1
破碎機：手作業カット破碎機	1,000本/h	1
破碎機：マルチ破碎機	1,000本/h	1
ミキサー式パウダー分離装置	2,000kg/日	1
選別機：磁選機		1
選別機：分級選別機		1

7. 広島蛍光灯リサイクルセンターの処理フロー図

① 使用済蛍光灯の収集・選別



② 蛍光灯の破碎処理

「マルチ破碎機」「両端カット破碎機」「手作業
カット破碎機」によって使用済蛍光灯を、ガラスと



③ パウダー（蛍光粉）の分離

破碎機にて破碎分別されたガラスと口金部分を
「ミキサー式パウダー分離装置」にて、



④ ガラス等の無害化処理

「マーチ21」で破碎したガラスと口金部分に
含まれる微量の水銀蒸気を回収し、無害化します。



⑤ 分級・選別

無害化処理されたガラスと口金部分を、磁力
選別機・トロンメルによって金属回収・粒度



⑥ リサイクル原料化

金属原料は電線や自動車部品等にリサイクルし、
ガラスは工芸品や断熱材等に生まれ変わります。



8. 施設の状況

積替保管場所		
(株)都市ビルサービス 本社	所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地
	保管上限	55.00m ³
	面積	43.95m ²
(株)都市ビルサービス 広島営業所	所在地	広島県広島市安佐南区大町西一丁目21-9
	保管上限	6.00m ³
	面積	3.64m ²
(株)都市ビルサービス 広島蛍光灯RC	所在地	広島県大竹市東栄一丁目5-8
	保管上限	68.65m ³
	面積	44.8m ²
(株)大竹環境保全	所在地	広島県大竹市東栄一丁目2-8
	保管上限	201.22m ³
	面積	226.81m ²

車両の種類と台数						
		本 社	広島営業所	蛍光灯RC	大竹環境保全	合 計
収集運搬車両	10t ダンパー				5 台	5 台
〃	10t ダンプ				5 台	5 台
〃	10t ウィング				1 台	1 台
〃	10t パッカー				3 台	3 台
〃	4t パッカー	15 台			2 台	17 台
〃	4t ダンパー				1 台	1 台
〃	4t ダンプ	3 台			3 台	6 台
〃	4t バキューム				1 台	1 台
〃	2t パッカー	3 台			2 台	5 台
〃	2t ダンプ	4 台			2 台	6 台
〃	2t バキューム				1 台	1 台
業務車両	4t 平ボディ			1 台		1 台
	2t 平ボディ			1 台		1 台
	4t 排水管洗浄車	1 台	1 台		1 台	3 台
	バン 他	5 台	13 台		8 台	26 台
営業車		5 台	3 台	1 台	2 台	11 台

9. 受託した廃棄物の処理実績

処理実績		
一般廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	8,100 t
	大竹環境保全	9,517 t
産業廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	458 t
	大竹環境保全	41,220 t
特別管理産業廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	3 t
産業廃棄物収集運搬 (蛍光灯リサイクル)	都市ビルサービス	27 t
産業廃棄物中間処理 (蛍光灯リサイクル)	都市ビルサービス	49 t

10. 環境への負荷の実績

環境への負荷（都市ビルサービス・大竹環境保全 合計分）		
二酸化炭素排出量（※1）	二酸化炭素	897,489 kg-co2
二酸化炭素排出量 (サイト別内訳)	株式会社都市ビルサービス 本社	330,963 kg-co2
	株式会社都市ビルサービス 広島営業所	56,293 kg-co2
	株式会社都市ビルサービス 広島蛍光灯リサイクルセンター	21,984 kg-co2
	株式会社大竹環境保全	488,249 kg-co2
水使用量	上水（※2）	2,010 m ³
廃棄物排出量	事業系廃棄物（※2）	4 t
化学物質使用量 (2-アミノエタノール)	(※2)	24 0

（※1）二酸化炭素排出係数は【0.585】を使用

（※2）都市ビルサービス・大竹環境保全の合計値を記載

11. 環境経営目標の取り組み結果

項目	単位	2023年4月～2024年3月		目標値(%)	結果	達成状況
		基準値(前年度)	今年度実績値			
電気使用量の抑制	kg-CO ₂	80,605	77,419	▲3%	▲4.0%	○
自動車燃料の削減 (その他車両)	kg-CO ₂	91,245	89,495	▲3%	▲1.9%	×
自動車燃料の削減 (収集運搬車両)	kg-CO ₂	685,010	728,052	▲3%	+6.3%	×
事務所ゴミの削減	kg	4,172	4,091	▲10%	▲2.0%	×
廃棄物のリサイクル	kg (紙)	4,864	4,874	+3%	+0.0%	×
	kg (缶)	451	454	+3%	+0.1%	×
	kg (ペット)	376	312	+3%	▲17.0%	×
節水	m ³	1,803	2,010	▲2%	+11.5%	×
リサイクル処理される 処分先への搬入促進	—	—	—	—	—	○
化学物質の適正管理	—	—	—	—	—	○
業務改善	—	—	—	—	—	○
教育訓練の実施	—	—	—	—	—	○

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
都市ビルサービス 環境保全部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する	○
		各収集コースの定期的な見直しを実施する	△
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	△
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする		○	
受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する	○	
課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○	
教育訓練	改善すべき点を指摘・指導する	○	
都市ビルサービス ビルメンテナンス	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	△
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	化学物質適正管理	使用洗剤のMSDSを取得し、保管する	○
		洗剤の購入記録の管理をする	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
教育訓練	改善すべき点を指摘・指導する	○	

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

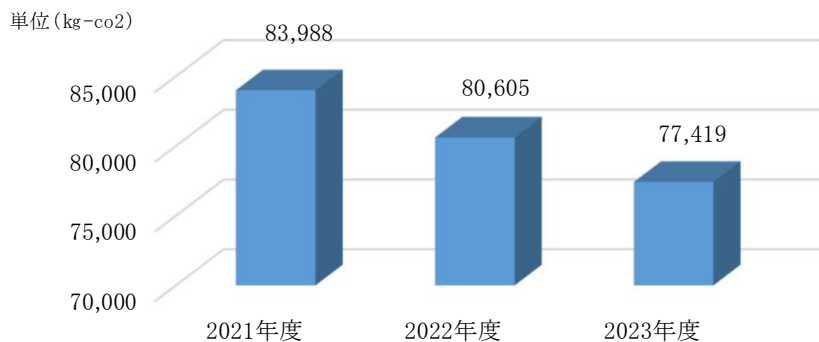
【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
都市ビルサービス リサイクル事業部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	△
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	○
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○	
都市ビルサービス 総務部・営業部	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		不要箇所の空調を停止	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
	廃棄物の削減	電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	△
		水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
	水道水使用量削減	水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
		課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
大竹環境保全	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する	○
		各収集コースの定期的な見直しを実施する	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	△
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
	教育訓練	改善すべき点を指摘・指導する	○

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

電気使用量の抑制



毎日定時に不要電気確認

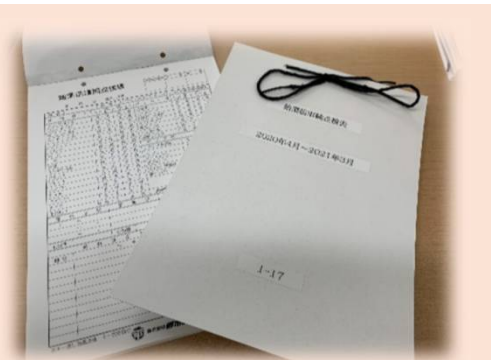
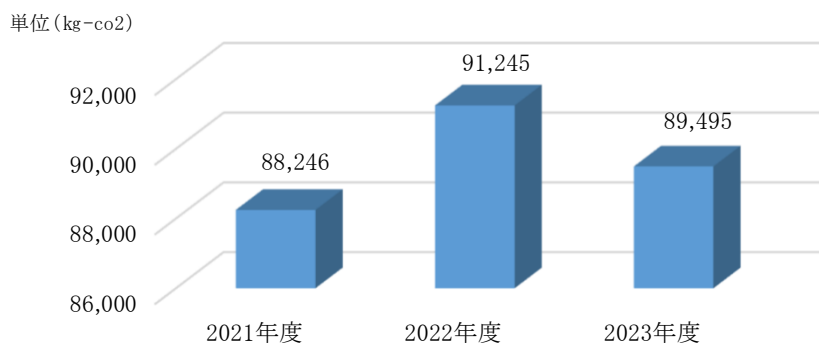
【評価】

今年度の夏は”猛暑日”が頻発し、屋外はもちろんのこと、社屋内の気温も相当高かった。逆に夏以外の時期も暖かった為、部門責任者先導のもと電気使用量の抑制ができた年だった。

【次年度の取り組み】

年々気温は上がってきているが、皆の体調管理第一優先で管理していてもらいたい。電気使用量を考慮するあまり体調を崩すという様なことは最も避けたい事だという認識を強く持っていく。

自動車燃費の削減(その他車両)



毎朝、車両点検を確実に実施
記録を保管しています

【評価】

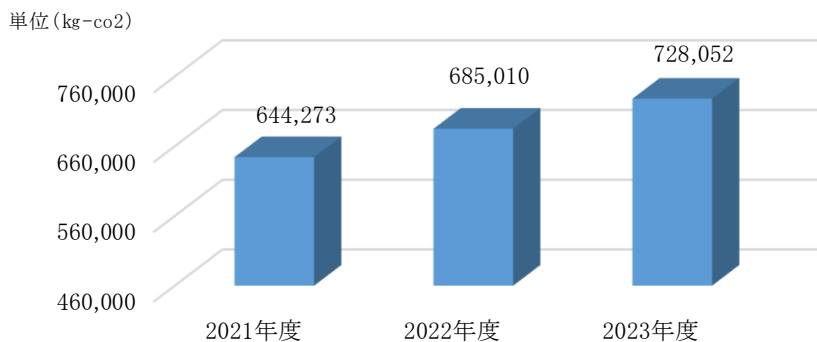
都市ビルでもう1台ハイブリッド車の導入が済んだ。前年度も同じ車両であるが、燃費を入れ替え前の車両と比較すると一目瞭然である。今後もどんどん導入できたらと思う。

【次年度の取り組み】

広島蛍光灯リサイクルセンターで一部清掃作業に車両を使った為、燃料使用がグッと上がっている。次回は数値が下げられるよう低燃費運転に取り組んでもらいたい。

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

自動車燃費の削減(収集運搬車両)



収集コースの入替え等、
無駄な運転を改善

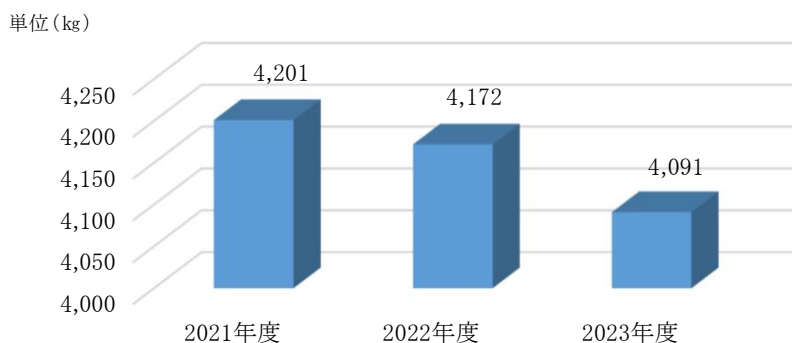
【評価】

都市ビルでは燃料消費削減且つ有価物の搬入増が達成できた。臨時作業の繁忙期は重なったりもして大変だったと思うが、率先して仕分け作業に動いてくれた。

【次年度の取り組み】

有価物搬入については、件数・金額ともに大幅に増加した。率先して動いた結果が確実に売り上げに繋がっているという点を従業員一同のモチベーションアップに繋げ、次年度も実行してほしい。

廃棄物の削減



積極的に資源化していく

【評価】

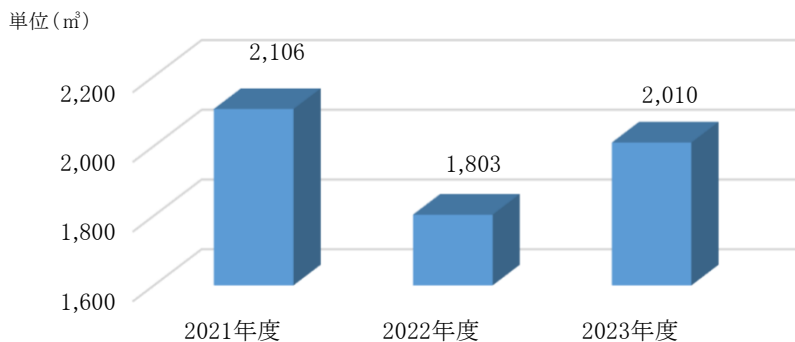
グラフを見ても分かる通り、少しずつでも削減できているのが嬉しい。皆のミスコピー利用やメールでのやり取りを見ていると、ちゃんと考えて行動できているなど実感できる。

【次年度の取り組み】

次年度は業務用複合機を更新し、2拠点ではFAXを用紙抽出ではなく、メール受信に組み込む予定である。少しでも紙使用量を削減し、廃棄物削減に貢献できたらと思っている。

12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

水道使用量抑制



水道前に「節水」の掲示

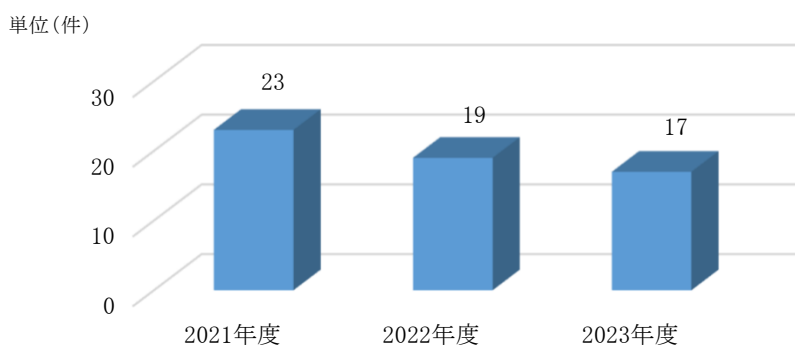
【評価】

都市ビルでは全て削減できている。広島蛍光灯リサイクルセンターでは蛍光灯自体の汚れ加減でも結構な差異が出るが、削減できたというのは結果として嬉しい。

【次年度の取り組み】

年毎に増え、減って、を繰り返してきている現状なので、次年度は期待したいと思っている。大竹環境保全では大幅に増えてしまったので、節水の意識をもっと持ってほしい。

蛍光灯リサイクルの搬入顧客拡大



様々な種類の蛍光灯がリサイクル可能です

【評価】

製造メーカーの中には一部製造を停止した型番もあるので、蛍光灯を引き続き使っていくという新規顧客に声を掛けていくしか無いという難しさがある中で前年比△2件に抑えられて良かった。

【次年度の取り組み】

LED化更新前の顧客をいかに見つけるかも課題だと思う。既存顧客からの情報収集も意識に入れ、些細な情報も見逃さないようにしていく。

13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営目標】						
環境方針	環境目標項目	部門責任者	2023年度実績 (基準年度)	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素 排出量 の削減	電気使用量 の抑制	T1:増本 T2:藤原 T3:米村 O:中野	77,419 kg-CO ₂	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 7%
	自動車燃料の削減 (その他車両)	T1:松本(隆) T2:池上 T3:米村 O:竹田	89,495 kg-CO ₂	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 7%
	自動車燃料の削減 (収集運搬車両)	T1:小林 O:田中	728,052 kg-CO ₂	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 4%	目標 基準年度△ 5%
廃棄物 の削減	事務所ゴミ の削減	T1:増本 T2:藤原 T3:米村 O:小西	4,091 kg	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 7%
	廃棄物の リサイクル	T1:増本 T2:藤原 T3:米村 O:山下	4,874 kg(紙) 454 kg(缶) 312 kg(ペット)	目標 基準年度+ 3%(各項目)	目標 基準年度+ 5%(各項目)	目標 基準年度+ 7%(各項目)
水道水使用量 削減	節水	T1:該当なし T2:藤原 T3:米村 O:森脇	2,010 m ³	目標 基準年度△ 2%	目標 基準年度△ 4%	目標 基準年度△ 6%
受託した 廃棄物に 関する項目	リサイクル処理 される 処分先への 搬入促進	T:山本 O:河野	—	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓
化学物質 適正管理	化学物質の 適正管理	T12:松本(隆) T3:該当なし O:該当なし	—	目標 使用薬剤の適正管理	目標 使用薬剤の適正管理	目標 使用薬剤の適正管理
課題と チャンス	業務改善	T:小川 O:河野	—	目標 業務の改善	目標 業務の改善	目標 業務の改善
教育訓練	教育訓練の実施	T:小川 O:河野	—	目標 教育訓練の実施	目標 教育訓練の実施	目標 教育訓練の実施

※部門責任者欄 T=都市ビルサービス全体 T1=都市ビルサービス本社 T2=都市ビルサービス広島営業所
T3=都市ビルサービス蛍光灯リサイクルセンター O=大竹環境保全 各社担当者を選任

13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
都市ビルサービス 環境保全部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する
		各収集コースの定期的な見直しを実施する
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする		
受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する	
課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	
都市ビルサービス ビルメンテナンス	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	化学物質適正管理	使用洗剤のMSDSを取得し、保管する
		洗剤の購入記録の管理をする
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	

13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
都市ビルサービス リサイクル事業部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	
都市ビルサービス 総務部・営業部	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		不要箇所の空調を停止
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
	廃棄物の削減	電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
		無駄な水の使用を控える
	水道水使用量削減	水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
		課題とチャンス
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する

13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
大竹環境保全	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する
		各収集コースの定期的な見直しを実施する
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を抑える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	

14. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

No.	法的小よびその他の要求事項の名称	都市ビルサービス			大竹環境保全
		本社	広島	蛍光灯	
1	道路運送車両法	○	○	○	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○	○	○
3	東広島市廃棄物の処理、清掃等に関する条例	○			
4	東広島市固形状一般廃棄物収集運搬業の許可条件	○			
5	固形状一般廃棄物収集運搬業の遵守事項（東広島市）	○			
6	東広島市廃棄物処理施設設置及び管理条例	○			
7	事業系一般廃棄物の処理の取扱要綱（東広島市）	○			
8	東広島市一般廃棄物収集運搬委託業務の委託条件	○			
9	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	○	○		
10	広島県生活環境の保全等に関する条例（騒音関連）	○	○	○	○
11	労働安全衛生法	○		○	
12	クレーン等安全規則	○			
13	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	○	○	○
14	産業廃棄物処理実績報告	○		○	
15	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	○			
16	山口県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			○
17	岡山県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
18	島根県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
19	愛媛県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
20	香川県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
21	鳥取県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
22	消防法		○	○	○
23	広島市環境の保全及び創造に関する基本条例		○		
24	広島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・規則		○		
25	大竹市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			○	○
26	公害防止協定			○	
27	県外産業廃棄物の県内搬入処理に係る事前協議に関する要綱			○	
28	浄化槽法				○
29	山口県浄化槽保守点検業者登録条例				○
30	広島県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例				○
31	和木町廃棄物処理及び清掃に関する条例				○
32	水質汚濁防止法				○
33	大竹市火災予防条例				○
34	悪臭防止法				○
35	瀬戸内海環境保全特別措置法				○
36	山口県循環型社会形成推進条例				○
37	計量法				○
38	貨物自動車運送事業法				○
39	貨物自動車運送事業輸送安全規則				○
40	毒物及び劇薬取締法				○
41	フロン排出抑制法		○	○	○
42	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	○	○	○	○
43	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	○	○	○	○

【違反・訴訟等の有無】

過去5年間に渡って、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

15. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価	項目		評価の内容
	環境への取り組みは適正に実施されているか		
環境経営システムが有効に機能しているか			問題なくシステム運営出来ていると思います。
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの内容・指示
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更ありません。
	環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	引き続き課題とチャンスクリアする為の活動に精進してください。
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	各部門の改善活動を更に良いものにできるよう活動してください。

●課題とチャンス

課題とチャンスについて、部署ごとの本格運用開始年度だった。部門長でしか分からない部下の改善点を洗い出してもらい、月毎に評価して貰った結果、無事に改善し、次の改善点に向けシフトチェンジするという流れで進められた。ホップ、アップ、ステップと、次世代の育成に向け非常に良いツールとして有効利用できていると実感している。

インボイス制度としては、早い段階から準備ができ、スムーズに新システムへと移行できたと思う。しかしながら、古い情報が残ったままになっている等々、移行したからこそ気付いた問題点も挙げられた。まだまだ問題点が残っている可能性も踏まえ、日々の請求書発行からその点を意識して行動していくようにする。

●代表者の総括

2023年度が終了した。毎年問題化されている温暖化問題は従業員の体調にも影響が少なからず出ていると思われるが、皆文句も言わず頑張ってくれ、こちらとしても冷感グッズ等の支給など出来る限りの対処をしていく。また、従業員の高年齢化という点では、今回1名の継続雇用を進め、次年度も1名定年を迎える従業員がいる。幸い若年層の採用もできたが、まだまだ足りないのが現状である。若年層の積極採用、そして人材育成をテーマに、エコアクションを通じた課題とチャンスもしっかり有効活用できるよう整備していくつもりだ。

ハイブリッド車の導入を今年度も実施できたのは良かった。しかし、昨今納期が異常に伸びている点を踏まえると、購入年月や走行距離等、今まで以上に情報に目を向ける必要がある。更に塵芥車は特に顕著に表れており、現状2年以上掛かると言われた車両もあった。故障個所の修理代も考慮する必要があり、少しでも早い段階で更新していけたらと思う。

2024年度も引き続き、従業員の健康管理を第一優先にし、更なるDX導入、そして車両の更新等も問題も進めていくこととする。